

中学 1 年 社会科「世界各地の人々の生活と環境」

柏市立柏第四中学校 石塚 大介

1. 単元目標

- 人々の生活は、生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解するとともに、世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性を理解することができる。(知識及び技能)
- 世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し表現することができる。(思考力・判断力・表現力等)
- 世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追求しようとする。(学びに向かう力，人間性等)

2. 情報活用能力育成をめざす単元づくり（全 10 時間扱い）

（1）単元について

世界各地における人々の生活の様子とその変容について、自然条件、社会条件と関連付けながら考察させ、世界の人々の生活や環境の多様性について興味や関心を高めて理解させる。その際、写真を読み解く学習活動（フォトランゲージ）を主体とし、様々な資料を比較しながら、世界の人々の暮らしが場所によって異なっていることについて考えを深められるようにする。なお、写真は開発教育協会発行「写真で学ぼう！『地球の食卓』学習プラン 10」を使用した。

（2）学習計画




	時	学習内容	留意点
1 課題の設定	1	○人々の暮らしは、なぜ場所によって異なっているのかという探究課題を立てる	・写真資料の比較から、各地の自然環境の特色を読み取り、気付いたことをまとめる【ドキュメント】
2 情報の収集	2	○フォトランゲージから、各気候帯の人々の生活の特色を捉える	・写真を見て気づいたことや疑問に思ったことを書き出し、班で意見共有を行った上で、各地の人々の生活と環境を理解する【Jamboard】 ・各気候帯の特色を自分の言葉でまとめ、データ(記述)を蓄積する【ドキュメント・Forms】 ＜本時展開参照＞
3 整理・分析	8		
4 まとめ・表現	本時		
5 振り返り・改善	9 10	○既習事項である人々の生活と自然環境についての特色を基に、探究課題に対する答えを考察する	・これまで蓄積したデータ(記述)を参考に、人々の生活の工夫を自然環境や宗教等と関連付けて考え、表現させる【ドキュメント・Forms】

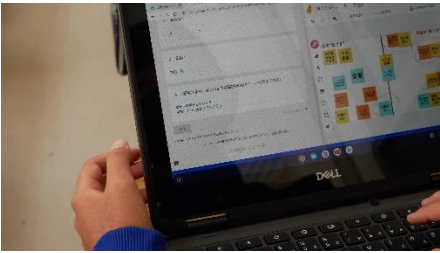
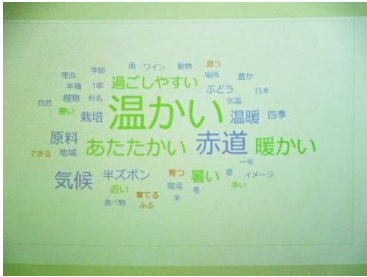

3. 本時について（本時 4/10 時間）

（1）本時の目標

- 資料から情報を収集し、得た情報について伝え合ったり、自他の情報を統合して考えたりする活動を通して、温帯の気候で生活している人々の暮らしについての特色を理解することができる。
（知識及び技能）

（2）本時の展開

時間	主な学習活動	指導上の留意点
導入 3分	1. 【全体の学び①】 前時の学習の確認と本時の活動の確認を行う。	●生活を切り取った写真を3枚用意し、班ごとに振り分け、どこの国の写真かを考えさせる。
展開 ① 7分	2. 【個の学び①】〈フォトランゲージ〉 自分の端末で、写真からわかることを付箋に記録していく。 	●【タブレット端末】配信した写真と Jamboard を同時に開き、2画面で作業させる。また、班は3人ごとに分け、事前に Jamboard に班数分のページを用意しておく、それぞれの班番号のページを使用させる。
展開 ② 10分	3. 【協働の学び→発表や話し合い①】〈フォトランゲージ〉 ①各自の付箋を「みんな(自分だけ)の気づき」と「共通の気づき」に振り分けていく。  ②新たな疑問点等を様々なツールを用いて調べ、理解を深めていく。 	●【タブレット端末】付箋をもとに意見交換を行って、答えを一つにまとめさせる。なお、付箋は各自で決めた“色つき”を使用し、名前などは書かせず、意見だけを記述させる。 また、まとめの作業の際、教科書・地図帳・インターネットなど様々なツールを活用させる。さらに、答えの根拠となった付箋をグループ化し、赤で○をつけさせる。

<p>展開 ③ 5分</p>	<p>③これらの活動の結果から、どこの国の写真だったのかを班で考える。</p> <p>4. 【全体の学び②】〈フォトランゲージ〉 それぞれの写真がどの国のものだったのか答え合わせをする。</p>	<p>●【ICT】スクリーンに答えを投影する。そして本時の課題(=温帯)を説明する。</p>
<p>展開 ④ 18分</p>	<p>5. 【個の学び②】 写真での気づきを踏まえ、温帯の特徴(イメージ)を Forms にまとめ、送信する。</p>  <p>6. 【全体の学び③→発表や話し合い②】 ①Forms で集まった意見をもとに、テキストマイニングを行い、イメージ化する。</p>  <p>②様々な資料を用い、温帯(地中海性気候)の地域の説明を行う。 ③「イギリス」や「日本」の話(疑問)から、温帯の残りの気候区について次回確認することを伝える。</p>	<p>●【タブレット端末】2画面にして、Jamboard と Forms を比較できるように指示する。</p> <p>●【ICT】Forms からテキストマイニング(「AI テキストマイニング by ユーザーローカル」を使用 https://textmining.userlocal.jp/)した図をスクリーンに投影しながら、意見共有を行う。その他はパワーポイントを用い、補足説明を行っていく。</p>
<p>終末 7分</p>	<p>7. 【個の学び③】 ドキュメントを用い、本時の課題の答えをまとめる。</p> 	<p>●【タブレット端末】ドキュメントにまとめの記述を蓄積させていくことで、今後の学習に活かせるようにする。</p>

(3) 情報活用能力のプロセスと育成を図るポイント

課題の 設定		情報の 収集	○	整理・分析	◎	まとめ 表現	○	振り返り 改善	
-----------	--	-----------	---	-------	---	-----------	---	------------	--

○情報収集のポイント

フォトランゲージの活動では、写真をもとに気づいたことをまとめていく。写真はタブレット端末上で拡大・縮小が可能なので、細部まで観察した上で情報をまとめることができる。

◎整理・分析～まとめ・表現のポイント

- ①Jamboard を活用することで、同時進行で自分の意見と他者の意見を共有することができるので、その共有された情報をもとに、再度情報を整理し、自分の考えを深めることができる。ただし、みんなが一斉に付箋を動かそうとすると混乱が起きてしまうので、班内で意見を整理する係と付箋の情報をさらに深く調べる係に分けて作業をさせる。(※右写真は、写真を拡大しながら、同時にそこから得られた情報をインターネットで調べている様子)
- ②整理された意見をもとに自分なりに Forms にまとめ、その意見をさらにテキストマイニングすることで視覚化できるので、瞬時に全体での情報共有を行うことができる。
- ③これまでの学びをドキュメントに記述していくことで振り返りを可能にし、単元全体の探究課題への理解を深めることができる。



実践を終えて

これまでのフォトランゲージでは、班に1枚写真を配付し、気づいたことを付箋に書き込んでもらい、その付箋を班で共有する活動を通じて、写真の国を当てるといった活動を行っていた。しかしながら、この活動ではあくまで自分たちの気づきだけで推測することになるので、それ以上の学習の深まりはなく、表面的な理解にとどまっていた。

この活動に1人1台端末を活用することで、以下のような変化が見られた。

- ・同時に各自が写真を見ることができ、かつ細部まで観察させることができた。
- ・インターネットを活用することで、より深い学びにつなげることができた。

※例えば、写真から読み取れた人物の肌の色や顔立ち・服装・食べ物・景観など、様々な情報について、ウェブ検索や画像検索を用いて、考察することができていた。

とりわけ自分で必要なツールを選択し、教科書や地図帳などの紙媒体と ICT 機器のハイブリッドで授業を行うことができたのは、大きな成果であったと考える。

また、生徒たちの様子からは、自発的に調べる姿や活発に意見交換を行う姿が見られた。同じ活動を繰り返すことで、作業にも迷いがなく取り組んでいたことも印象的で、かつ学年としても日頃からタイピング練習などを行っていたこともあり、操作面で困った姿は見られず、時間内に自分の意見をしっかりと記述できていた。

一方で、今回の授業では時間の関係上、各班で整理した付箋(意見)については教員側でまとめて発表し、各班から発表させる機会をつくることができなかった。1人1台端末の活用と同時に言語活動の充実をより図るのであれば、口頭での発表の機会も取り入れられるような授業改善が必要であると考える。